

バス車内運行情報管理システムについて

1 システムの概要

- ・ 車内案内放送用の音声合成放送装置を中心に平成10年度に整備
- ・ 主な構成は、音声合成放送装置と車内前方に設置されている停留所名表示器、運転席右側に設置されている系統設定器
- ・ その他、行先表示器、市バスナビ、IC料金箱とも関連
- ・ 運行情報の総合的な管理を行う市バス運行の基幹システム

◇システムの更新

音声合成放送装置の整備から12年以上が経過したことから、老朽化への対応に合わせて、お客様サービスの向上を重視して更新

平成24年11月7日 全車両設置完了（327両）

更新費用 102,879,000円

2 主な更新内容

お客様への新たなサービスとして、バス車内の停留所名表示器を21インチの液晶大型画面とし、次の停留所の案内などを車内のお客様に視覚的にわかりやすくした。

路線バス事業者で全路線への導入は全国で初めて

(1) 停留所名表示器（車内前方に設置、次の停留所名等を案内する機器）

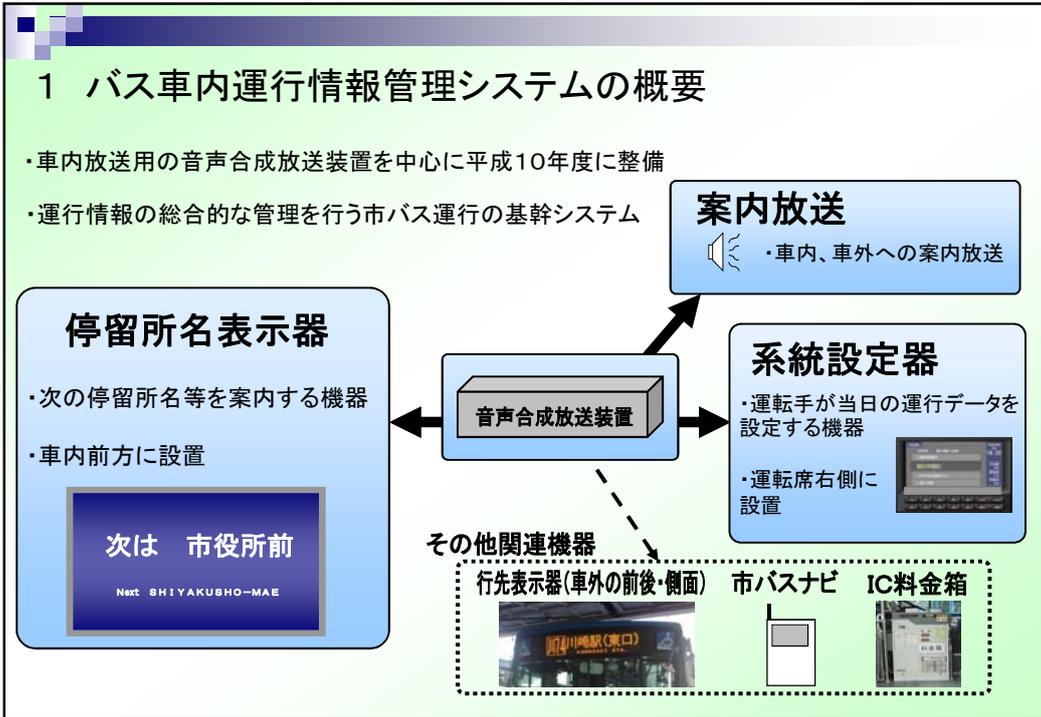
21インチの液晶大型画面により視認性を向上させ、次の順に案内を表示

- ① 次の停留所名を日本語とローマ字で表示
- ② 3つ先までの停留所を表示し、初めての方、地理不案内の方もわかりやすく
- ③ 大きな文字でひらがなを含むスクロール表示
- ④ ローマ字、中国語、韓国語の表示による言語バリアフリーへの対応（一部停留所では、日本語のほか英語放送も実施）

※その他、様々な運行案内表示

(2) 系統設定器（運転席右側に設置されている運転手が案内放送を設定する機器）

- 7インチ液晶表示への大型化による視認性の向上
- 設定作業の効率化
- 各停留所の通過予定時刻を表示



◇システムの更新

整備から12年以上経過、老朽化への対応が必要⇒お客様サービスの向上を重視し更新
11月7日 全車両設置完了(327両) 費用:102,879,000円

2 主な更新内容

- ・お客様への新たなサービスとして、バス車内の停留所名表示器を21インチの液晶大型画面とし、次の停留所の案内などを車内のお客様に視覚的にわかりやすく
- ・路線バス事業者で全路線への導入は全国で初めて

旧



新



**21インチ
液晶大型画面による
視認性の向上
(表示部分の面積は4倍)**

- ① 最初に次の停留所名を日本語とローマ字で表示します



※時刻と行先は、常に表示されます

- ② 次に3つ先までの停留所を表示します



- ③ 次に大きな文字でひらがなを含むスクロール表示をします



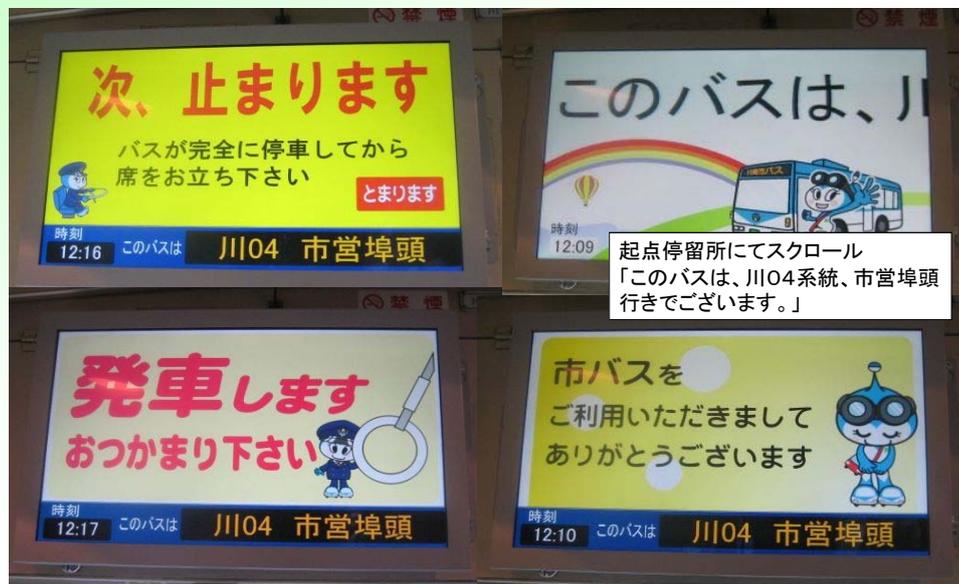
「つぎは、市役所前(しやくしょまえ)」

- ④ 最後にローマ字、中国語、韓国語の多言語表示をします



※鉄道駅などの一部停留所での案内放送は、日本語のほか英語でも流れます

※ その他にも様々な運行案内表示があります



11月7日現在、全車両への設置が完了

かわさき
パルフィン

市バス全路線で運行しておりますので、是非ご利用下さい。

